

# コード・オレンジ

## —心配蘇生法の普及を目指して—

代表者 山本章太 (医学B 4年)  
構成員 鈴尾舞子 (医学B 4年) 岡村菜々子 (医学B 4年) 棚橋信子 (医学B 4年)  
小川亮 (医学B 4年) 有吉平 (医学B 4年)  
中島彰子 (医学B 4年) 田原正則 (医学B 4年)  
梶山恒 (医学B 4年) 吉田雄一郎 (医学B 4年)

### 1. 今年度、上半期を振り返って

上半期のコード・オレンジの活動は多岐に渡った。イベントとしては6月の運動部講習会と山口県の教職員に対してのBLS講習会、9月の医学科フレッシュマンセミナーでの講習会があり、そのための準備などに終始した。以下、各イベントの内容を詳細に列挙する。

### 2. 運動部講習会

6月22日に医学部運動部に対してAED講習会を行った。結果としては非常に活気ある講習会になったと自負している。

受講者数は80名程度、インストラクターは12名、受講者には8ブースに分かれてもらった。病棟実習をされている5年生の先輩方と山口大学医学部附属病院AMEC3の笠岡先生にも協力いただいた。

まず、5月下旬～6月上旬にかけて笠岡先生と講習内容(胸骨圧迫や人工呼吸のどこに重点を置いて解説するべきか、講習の際の人員配置はどうするべきか、来年以降のガイドラインの変更についての推測とその対応など)を煮詰める時間に当てた。中でも難渋したのが、講習時間の短さと1ブース毎にインストラクター2人に対して受講者10人という余裕のない状況でどのように的確かつ円滑に講習を進めていくかということだった。そして笠岡先生との協議の結果、まず教える手技については来年のガイドライン改定(人工呼吸の重要度や必要性がガイドライン2005より低くなること)を見越して胸骨圧迫をメインに教えることにし、通報→胸骨圧迫→AED使用の3つの作業をより重視して講習した。そして講習に際しては各手順を大きく書いたプリントを用意し、受講者側にもバイスタンダーCPRの手順がわかりやすくなるよう工夫した。それと平行して各ブースに分かれる前に全体でデモンストレーションを行った。

講習自体は相手が医学生ということもあり、会場は大変な熱気に包まれていた。自身のブースでは質問も積極的に出てきており、講習する側としても心配蘇生法の理解がより深まった。



運動部講習会の様子 (胸骨圧迫)

### 3. 山口県教職員に対してのBLS講習会について

6月28日には山口大学医学部附属病院 AMEC3 が主宰する山口県教職員に対してのBLS講習会のサポートを行った。これはコード・オレンジの学生が講習をするものではなく、AMEC3の前川先生や笠岡先生を中心とした講習会を円滑に進めるための物品運びや講習の際の手伝いなどとして参加したものである。

朝8時に集合し、受講者の方にBLSの手技の動画などを見ていただいた後に講習に移った。

講習内容は成人BLS、小児BLS、気道内異物除去の3項目であった。成人と小児ではいくつか手技や手順にも違いがあり、受講者の方はその差異の把握に手間取っていたように感じた。具体的には通報の順序の違い（成人ではすぐに通報だが、小児ではCPRを行った後の通報が推奨されている。これは小児の心肺停止では成人と異なり、呼吸原性呼吸が止まることによる心肺停止が主な原因となっているからである。）や胸骨圧迫の方法（成人では両手を使って行うが、押しすぎてしまう、携帯電話で通報をしながら、などの場合は片手のみで胸骨圧迫を行う手技がある。）などである。また、気道内異物除去は基本的にはハイムリック法（後ろから手を回して腹部を突き上げる方法）で行うが、手技に慣れていない場合は時間がかかったり効率よく異物を除去できないことがあるため、教育現場での更なる講習充実の必要性を強く感じた。

### 4. 医学科フレッシュマンセミナーでの講習会

9月25日には医学科1年生を対象としたフレッシュマンセミナーでの講習会を行った。

受講者は今年度入学の医学科1回生80人、インストラクターとして救急救命科で実習を行っている3年生3人とコード・オレンジより2人が参加した。

平日の昼間の開催ということで自身や主要なメンバーは授業があり参加が不可能であったが、3年生と6年生のメンバーがムードメイカーとなり講習を引っ張ってくれていたと聞いている。医学部学務課の方からも1年生の印象は非常によく、また是非依頼したいとお言葉もいただいた。

しかしながら、平日の昼間に講習会が行われると医学科の学生は基本的に参加が難しいため講習時間を夕方にすることや土曜日に行くことなどの改善があれば主催側である学務課の方にとっても、インストラクターを派遣するコード・オレンジ側にとっても有益であると考えます。

### 5. その他の勉強会や練習会

勉強会とは主に知識の向上を目的とし、医学部図書館2階視聴覚室にてパワーポイントを用いて各サークル員がBLSなどの各手技について勉強し発表を行うものである。具体的には成人BLS（意識確認・気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、AED）、小児BLS、乳児BLS、気道内異物除去（溺水も含む）である。

練習会とは主に講習技術や手技の向上を目的として医学部基礎実習棟2階にて人形を使って練習を行うものである。できるだけ力を使わずに効果的な胸骨圧迫を持続したり、効率よく気道確保や意識確認をする手技など講習の際に必要な各種の手技について教科書やガイドラインを超えた内容を練習している。情報源は現場の救命士の方々や救急救命科の先生方による。



練習会の様子（理想的な胸骨圧迫のフォームについて）

### 6. リアルタイムの活動について

その他のリアルタイムな活動（出雲メディカルラリーの参加や）についてはコード・オレンジブログ（[http://blog.goo.ne.jp/code\\_orange/](http://blog.goo.ne.jp/code_orange/)）を参照願いたい。